

# 自己表現力を育てるために、新聞を活用した学習活動の在り方

～総合的な学習の時間・社会科・選択社会科の実践をとおして～

高原町立高原中学校 教諭 西畑 洋

## I 主題設定の理由

現代は、科学技術の進歩と経済の発展により、物質的に豊かな社会が形成されている。同時に、情報化・国際化・価値観の多様化・少子高齢化など社会の各方面に大きな変革をもたらしてきた。とりわけ、情報の分野では、社会のあらゆる分野の情報がデジタル化・マルチメディア化され、情報を入手したり、発信したりする手段が多様化するとともに、情報量は飛躍的に増大し、そのスピードもこれまでと比較にならないほど速くなっている。さらに、これは生徒の生活にも大きな影響を及ぼすようになり、ありふれた情報の中で自分に必要なものを見極めて活用するなど、情報化の新しい時代に対応した教育の必要性が指摘されている。

このような目まぐるしい社会の変化の中で、私たちはこれからの学校教育においても、急激な社会の変化に主体的に対応し、生きる力を身につけた人間の育成をしていくことが強く求められている。学習指導要領の中にも、「自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力を育成するとともに、基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育を実現すること」がねらいとしてあげられている。「総合的な学習の時間」の中で、生徒一人ひとりの興味・関心を高めさせ、生徒が中心となり課題を追求・解決する中で、社会的な事象へのものの見方や考え方を深め、それをまとめたり、表現したりする活動は非常に重要である。そして、このような活動を通して、自己教育力や思考力、判断力、表現力といった力を育成するような指導・支援に努め、さらに学習指導の工夫改善を図る必要がある。もちろん、「総合的な学習の時間」だけでなく、「社会科」における役割も非常に大きい。

高原中学校は、自然環境や学習環境に恵まれた全校生徒約290名という中規模校である。第3学年は、「国際理解」というテーマで、総合的な学習の時間を進め、韓国大川中学校との交流もおこなっている。課題解決能力の育成に重点を置いて毎年実践しているが、生徒が相互に学び合うためには、自分の考えを効果的に表現し相手に伝えることや、相手の発表などの要点をつかみ、それをもとに自分の考えを表現していくことがさらに重要である。そこで、新聞活用の教育効果として知られている「社会への関心や国際理解が深まる」「文章を読み、書く能力がつく」などの効果に期待して、豊かな表現ができるような生徒を育てたいと考えた。

以上のことをふまえ、NIE担当者として、「自己表現力を育てるために、新聞を活用した学習活動の在り方」という主題を設定し、社会科や総合的な学習の時間における新聞の活用を通して、研究を進めることとした。

## II 研究の目標

新聞記事を活用した「社会科」や「総合的な学習の時間」の活動を通して、生徒が主体的に情報を収集・選択をおこない、自分の考えを表現するという能力を培い、課題を解決する能力を育成する。

## III 研究の仮説

社会科や総合的な学習の時間のねらいをふまえ、新聞記事を活用した調査活動をおこなえば、生徒の興味・関心にもとづいた主体的な学習活動となり、自己表現力を身につけることができるであろう。

## IV 研究の内容

### 1 新聞の置き場所と整理の方法

#### (1) 新聞コーナーの設置

新聞をいつでも閲覧できるように、3学年多目的ホール(廊下)に新聞コーナーを設置した。3年生徒全員の目にふれ、気軽に読めることを最優先とするため、長机と椅子を準備し、休み時間等を利用して読むことができるよう工夫した。なお、新聞を閲覧した生徒は、記録簿に記入することとした。(同じ生徒が何回読んでも記入する)

#### (2) 気になるニュースの掲示

新聞コーナーにホワイトボードを設置し、「気になるニュース」「国際理解に関するニュース」「進路関係のニュース」を特別に取り上げ、マグネットで掲示した。このことにより、さらに生徒の目にふれやすいように工夫した。

#### (3) 整理の方法

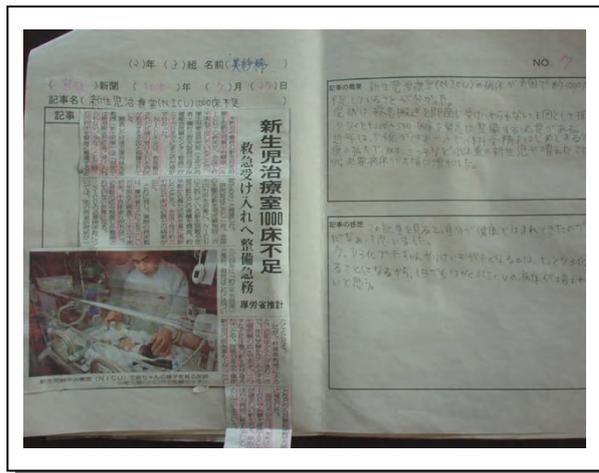
過去の新聞はすぐに廃棄せず、古紙回収用の箱に各新聞社別に保管した。日付の古い順に保管し、あとで資料収集がしやすいように工夫した。なお、新聞はホッチキスで留め、閲覧してもバラバラにならないようにした。

### 2 社会科における新聞の活用

夏休みの課題として、「新聞の切り抜き集」を作成した。ねらいとしては、以下のことを説明し、評価をつなげることにした。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新聞に興味をもつ。読む習慣をつける。</li> <li>② 内容を読み取り、時事について知る。</li> <li>③ 記事の概要と感想をまとめる。</li> </ul> |
|---|

作成にあたっては、教師側であらかじめ例を掲載して説明をした。夏休み期間中の新聞からB4サイズ5枚(裏表)合計10記事を取り上げ、「新聞の切り抜き集」を作成するように指示した。内容としては、スポーツ関係だけでなく、政治・文化・事件など幅広い分野で新聞記事に興味をもつ生徒が見られ、その内容を簡潔にまとめることができた。



### 3 総合的な学習の時間における新聞の活用

#### (1) 学習計画「世界の国調べ」(全10時間)

時	学 習 活 動	教 師 の 支 援
1	オリエンテーション (活動内容について)	「世界の国調べ」についての意義と方法について説明し、今後の活動の見通しをもたせる。
1 本 時	新聞記事から自分の調べる国を設定する	各クラスに新聞を分け、さらにグループごとに新聞を見せ、時間ごとにローテーションをおこなう。興味・関心のある記事についてはメモをさせる。
4	資料を収集し、調査活動をおこなう	新聞記事の切り抜き、図書室の資料、インターネットなどから資料を収集し、分かったことなどをワークシートに記入させる。
3	新聞形式のレポートにまとめる	写真の活用や色ペン等で工夫をおこなわせるが、印刷する際には白黒になることを留意させておく。
1	発表会をおこなう	まとめたレポートを印刷して冊子にする。それをもとにクラスごとで発表をおこなう。

(2) 本時の活動 (2 / 10 時間)

① ねらい

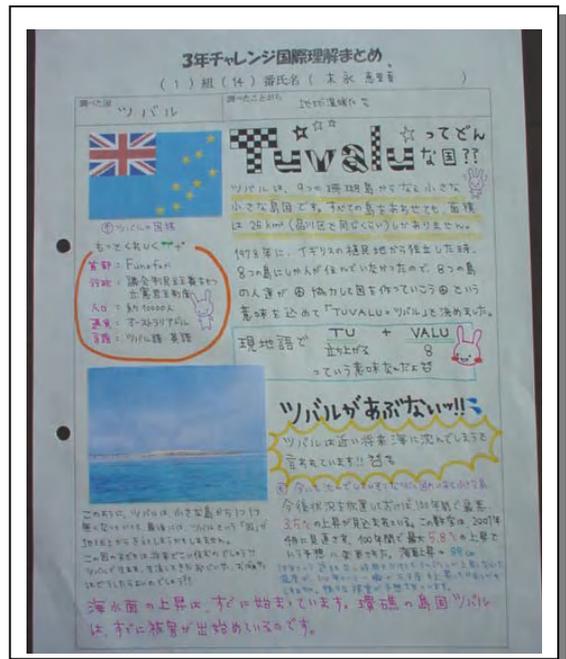
- 新聞記事から世界の国の構成や情勢に関心をもつことができる。
- 調査する国やテーマを設定することができる。
- 調査方法や調査内容、レポートについて見通しをもつことができる。
- 新聞形式にレポートをまとめ、わかりやすく発表することができる。

② 指導過程

段階	学習活動	教師の支援
導入	1 前時のオリエンテーションを振り返る。	○ 配布した説明用資料をファイルに綴じさせる。
	2 本時の活動内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">新聞記事から、自分の調べる国を設定しよう。</div>	○ 活動内容を板書して、視覚的に伝える。
展開	3 新聞記事を読む。 ・どこの国の記事か。 ・どんな内容か。 ・詳しく調べてみたいと感じたか。	○ グループに分かれて、新聞を読む。  ○ 見出しに注意させて、興味が高まった記事についてメモをさせる。
	4 調べる国とテーマを設定する。 ・国名 ・テーマ (調査項目) ・調査方法 ・調査時間 ・まとめ方	○ 他の生徒と重複しないように、できるだけ多くの国を取り上げるようにする。  ○ 今後の計画についても見通しをもたせる。
終末	5 本時の活動の反省をおこなう。	○ 本時の活動の反省をワークシートに記入させる。

(3) 評価

- 新聞記事から世界の国の構成や情勢に関心をもつことができたか。
- 調査する国やテーマを設定することができたか。
- 調査方法や調査内容、レポートについて見通しをもつことができたか。
- わかりやすくまとめ、発表することができたか。



4 選択社会科における新聞の活用

選択社会科においては、新聞を参考にして、自己表現力を高める取り組みをおこなった。『歴史新聞をつくろう!』という单元名で、読者のことを考えた表現方法を身につける活動をおこなった。

① ねらい

- 歴史的な事象に興味・関心をもち、自ら課題を発見し、考え続けていこうとする態度を育てる。
- 社会事象に対する思考を深め、適正な判断をおこなうことができる。
- 社会事象に対する自分の考えを、論理的に新聞にまとめることができる。
- 中学校における社会科の基礎的な事項を理解することができる。

## ② 内容と方法

- 1 見出しを設定する（新聞を参考に）
  - ・ 今まで学習した歴史的事象の中から大きな見出しを設定する。
- 2 見出しの副題を設定する（新聞を参考に）
- 3 記事の項目をたてる
  - ・ 記事にする項目を取り上げておく
- 4 取材（調査）をおこなう
  - ・ 項目に基づいて、調査活動をおこなう
- 5 新聞の作成をおこなう（新聞を参考に）
  - ・ B4サイズの縦書きでおこなう
- 6 社説をまとめる



## V 実践の感想と今後の課題

- 新聞コーナーを設置したことにより、生徒が新聞に親しみやすくなり、休み時間等に新聞を読んでいる生徒が増えた。
- 気になるニュースを掲示したことにより、視覚的にも生徒の関心を引くことができ、新聞を読むきっかけにつなげることができた。
- 新聞を通して、社会的事象に関心をもつ生徒が増え、進路における「面接指導」や「作文指導」にもつなげることができた。

- 新聞を廃棄せず、保管していたことはのちの資料収集に大いに役立てることができた。
- 社会科での取組として、「新聞の切り抜き集」を作成したが、生徒たちは興味をもっておこない、新聞を読む機会となった。
- 総合的な学習の時間の「世界の国調べ」で新聞を活用したことは、生徒の興味・関心を高めるのに非常に有効な手段であった。
- 調べた内容をレポートにまとめる際に、新聞のレイアウトを参考にすることができた。
- 選択社会科での取り組みでは、現在の新聞を参考に、自己表現力を高める活動をおこなったが、生徒たちは興味をもって取り組み、読者のことを考えた工夫が見られた。
- 今回の研究には含まれていないが、保健体育や家庭科の授業でも新聞記事を取り上げた活動が見られ、新聞活用の広がりが見られた。
- 各新聞社に特色はあるが、新聞社によっては、生徒の関心が薄いものや記事の内容が難しいものがあり、興味を示さないものもあった。
- 連休明けなどの新聞の保管が煩雑になってしまった。生徒と一緒に新聞の整理に努めていく必要がある。
- 新聞を利用した調査活動やまとめ方について、他の教科とも連携を図っていく必要がある。
- 新聞の活用を十分な自己表現力の育成までにつなげることができなかった。新聞の内容だけでなく、構成の在り方についても研究を深める必要がある。
- 調査活動や自己表現力の育成のためには、さらに系統性をもたせ、継続的に取り組む必要がある。
- 今年度は第2・第3学年を対象として研究を進めてきたが、他の学年においても研究を深め、3年間を見越した取り組みが必要である。